

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年7月22日（水）

2 確認箇所

2号機原子炉建屋使用済燃料プール（遠隔操作室）（図1）

3 確認項目

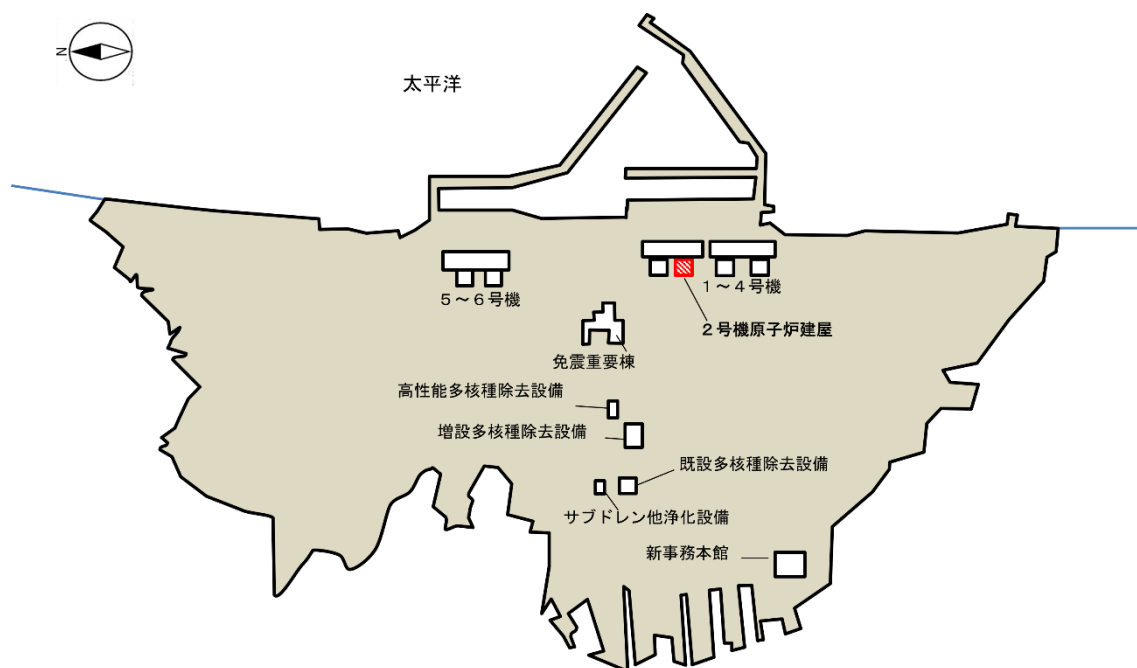
2号機燃料取り出し作業の状況

4 確認結果の概要

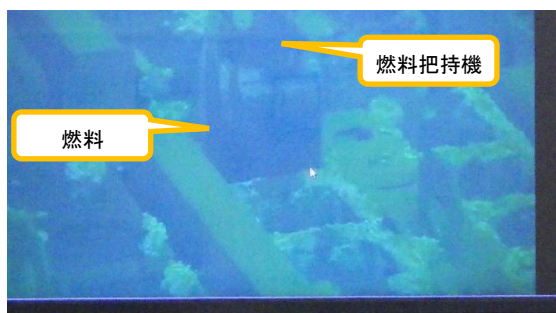
東京電力では、2号機使用済燃料プールに貯蔵されている615体の燃料について、令和10年度までの取り出し完了を目指し、6月2日から燃料取り出し作業が開始されており、7月17日までに21体の燃料の取り出しが完了している。

今回、新たに7体の燃料取り出し作業が開始されていることから、その作業状況について確認した。（前回確認：令和8年7月21日）

- ・遠隔操作室において、前日に燃料4体を格納したキャスク（使用済燃料の輸送や貯蔵に使われる専用の容器）へ、さらに3体の燃料を格納する作業を確認した。（写真1）
- ・格納作業は、手順書に基づき作業員間で連携を図りながら、確実に作業が進められていた。
- ・一連の作業において異常は認められず、安全に作業が進められていたことを確認した。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



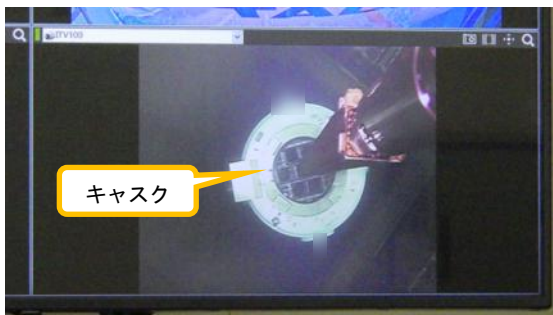
(写真1①)
燃料の吊り出し作業①



(写真1②)
燃料の取り出し作業②



(写真 1 ③)
使用済燃料プール内を移動している
様子



(写真 1 ④)
キャスクへ格納する様子



(写真 1 ⑤)
キャスク格納後の様子

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。